

2026年2月10日

第80回 公開講座 現代日本の教育についてデータから考える —格差の実態とその背景へのアプローチ—

武藏大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、本学の教授をはじめとした講師陣による第80回公開講座「現代日本の教育についてデータから考える—格差の実態とその背景へのアプローチ—」を4日に渡って開催します。第1回では社会学部の垂見裕子教授、第2回では社会学部の苫米地なつ帆准教授、第3回では東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターの胡中孟徳助教、第4回では中央大学経済学部の森いづみ准教授が登壇します。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

講座概要

会場：武藏大学 1号館地下1階 1002教室 ※オンライン受講はございません。

日時：[全4回] 10:00～12:00

【第1回】3月2日（月）日本の学力格差の特徴と構造—国際比較からの示唆—

講師：垂見裕子（社会学部教授）

【第2回】3月3日（火）家族のかかわりと教育格差—親やきょうだいとの関係に注目して—

講師：苫米地なつ帆（社会学部准教授）

【第3回】3月4日（水）子どもの生活時間からみる教育と社会

講師：胡中孟徳（東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター助教）

【第4回】3月5日（木）中学受験の実像と「効果」をデータで読み解く：公立・私立の違いと格差を考える

講師：森いづみ（中央大学経済学部准教授）

■お申込み

定員：250名（先着順）

参加費：[全4回分]

2,000円（一般）、500円（武藏大学在学生父母、武藏学園卒業生）、

無料（高校生、在学生*）

*在学生とは、武藏大学の学生、大学院生、科目等履修生、研修生、練馬区特別履修生を指します。

申込方法：2026年2月23日（月）まで

【PC専用申し込みサイトよりお申し込み】

<https://web.634.co.jp/>

【FAX、メール、郵送によりお申し込み】次の①～⑥を明記のうえ、下記アドレス・住所に送信（郵送）してください。

①第80回公開講座「現代日本の教育についてデータから考える—格差の実態とその背景へのアプローチ」

②氏名（フリガナ） ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤FAX番号（ある方）

⑥申込区分（一般、本学在学生父母、本学園卒業生、本学在学生、高校生）

申込先・お問合せ：【武藏エンタープライズ】※講座当日は会場対応のため閉室

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1（武藏大学内）

Tel：03-5984-3785 Fax：03-5984-3787

E-Mail：direct@634.co.jp URL：<https://web.634.co.jp/>



—報道関係者問い合わせ先—
武藏大学 広報部 担当:増田・西（ますだ・にし）
TEL:03-5984-3813 E-mail:pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から 4 年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の 4 学部 9 学科となった。

2027 年 4 月からスタートする新カリキュラムでは、データサイエンス系の新専攻として社会学部に「情報社会デザイン専攻」、国際教養学部に「ビジネスデータサイエンス専攻」を設置予定。さらに国際教養学部の経済経営学専攻は学びを広げ、「経済・経営・国際関係専攻」へと名称を変更予定。

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1